

市の宣言

男女平等参画都市宣言  
非核平和都市宣言  
青少年健全育成都市宣言  
交通安全都市宣言

# こんにちはは 新市長です

## 市民に信頼される 町田市政を実現します

### 町田市長 石阪丈一



3月9日初登庁後、市庁舎前で  
出迎えた市民や市職員の前で  
抱負を述べる石阪新市長

私は、先の市長選挙において多くの市民のみならず、先のご支持をいただき、昭和33年に町田市ができて以来4人目の町田市長になりました。歴史と先進都市の伝統そして進取の精神にあふれるこのまち、町田市の行政運営を担当することになり、新しい市長として、「市民に信頼される町田市政の実現」に全力をあげて取り組んでいきます。これからの市政の運営について、市民のみならずのご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年来、多くの市民の方々にお会いをし、話し合いを重ねてきました。高齢者の介護の問題、子育て、教育、防犯、緑地・農業、環境問題そして商工業振興など、市民生活を取り巻く課題は数多くあります。市民のみならず、そうしたさまざまな分野で問題の解決と地域の発展のために、お互いに協力し活躍されていることに改めて敬意を表します。

市民のみならずのそうした活動には、それぞれに、将来への希望があり、課題や不安もまたあります。話し合いの中では、市政の変革への期待もあり、また政策への要望、さらには市政運営への苦情やご批判もいただきました。

私は、新しい町田の市長として、41万市民のみならずとも活動し、市民のみならずの一つひとつの活動について、市役所職員とともに支援をしていきます。

新しい時代になりました。国全体の人口が減少する中で、高齢化が進むという時代になりました。また、企業活動についてもその社会的責任が厳しく問われる時代になりました。そして、私たち自身で作っているこの社会全体のモラルといったものが、崩れかかっているという時代にさしかかって来ました。この町田も例外ではありません。

市民一人ひとりの人権が尊重された、公共の福祉を追求し、社会全体の利益のために活動する、公(おおよげ)の仕事の責任はますます大きくな



市職員から歓迎の花束を贈られました

っています。

「信頼」は公の仕事に携わる「市役所」にとっても大切な存在意義。存在価値です。市民から信頼される市役所であれば、存在している理由はほとんど失われてしまいます。市民の疑問に率直に答えられない職員は市政への不信を招きます。正しい、公正な仕事、隠し事をしない透明で開かれた行政運営、そして専門的知識と技術をもって仕事をすること、そういう仕事の仕方から「信頼」という最も大切な価値は生まれます。

ここで、選挙を通じて議論がありました二つの課題について考えを述べます。ひとつは新市庁舎建設です。この計画については、これまでの検討の経緯と内容を尊重して進めてまいります。その上で、市庁舎の機能のあり方、交通計画、建物の規模など、いくつかの課題について検討を加え、計画を詰めてまいります。

もうひとつは、廃プラスチックの中間処理施設の問題です。凍結されている計画は白紙に戻します。その上で、この問題を含め、ごみ問題全体について、早期に「ごみゼロ都市宣言」をできるよう、広く市民のみならずとも考える、検討・協議の場を作ります。

私は、41万市民一人ひとりが明日への希望を持つまち、他都市に誇れる先進都市としての町田、そして市民と協働で運営する市役所づくりのために、これからの市政運営に全力をあげて努めていきます。市民のみならずのご理解とご協力を改めてお願い申し上げます。

本日の新聞には「まちだの教育No.63」が折り込まれています。ご覧下さい。